

鋁工業指数参考図表集
(平成30年7月速報)

平成30年8月31日

經濟解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成30年7月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

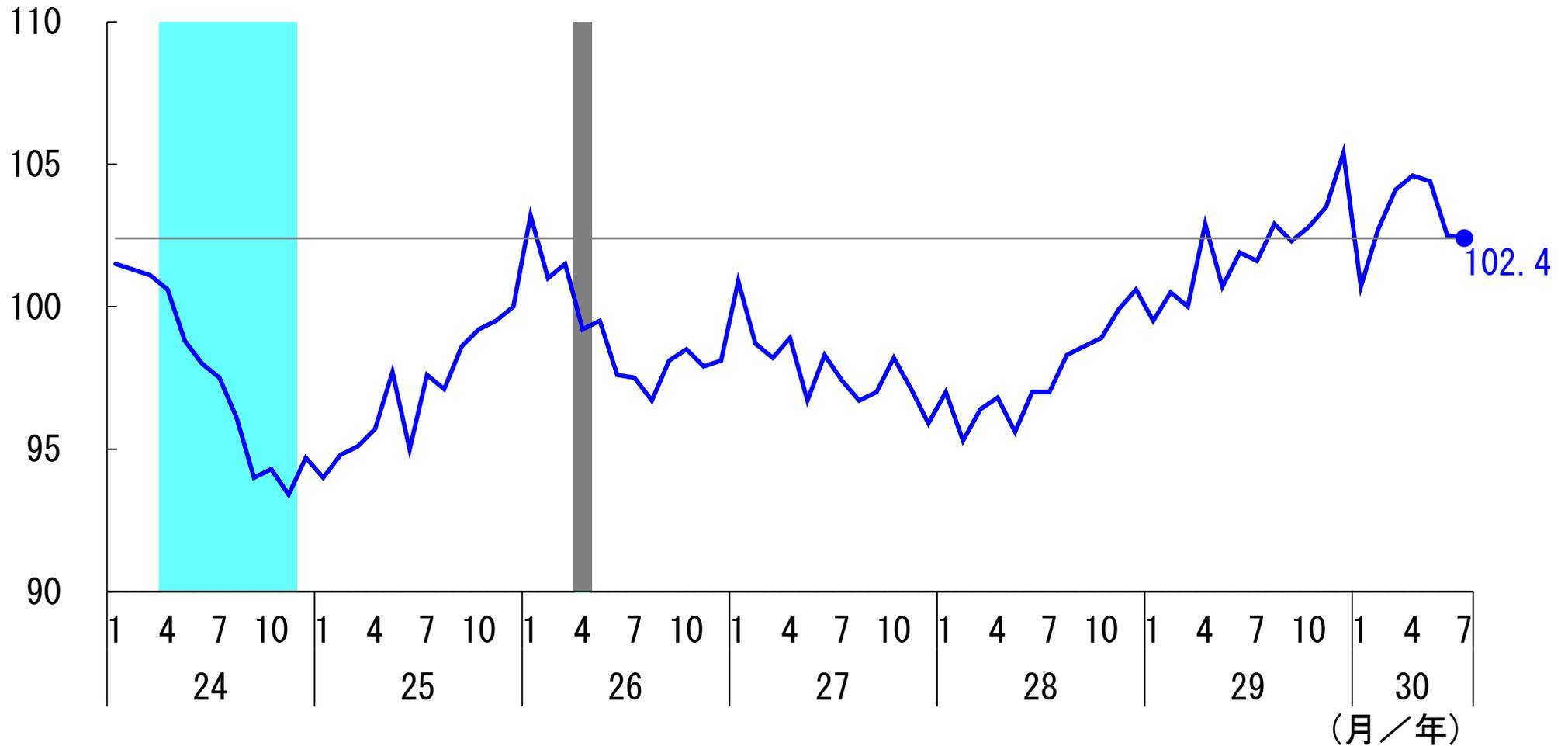
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	102.4	99.9	111.2	117.0
前月比	-0.1%	-1.9%	-0.2%	0.4%
指数水準	H30. 1 100. 7以来 ①H21. 2 76. 6 ②H21. 3 77. 6 ③H21. 4 81. 0	H30. 1 98. 7以来 ①H21. 2 79. 2 ②H21. 3 79. 7 ③H21. 4 80. 7	H30. 2 109. 9以来 ①H23. 3 97. 7 ②H22. 8 98. 3 ③H21. 12, H22. 9 99. 1	H30. 3 117. 1以来 ⅠH21. 2 155. 6 ⅡH21. 1 150. 2 ⅢH21. 3 146. 3
前月比の動き	3か月連続－ (H30.5～当月)	2か月ぶり－ (H30.5以来)	2か月連続－ (H30.6～当月)	3か月連続＋ (H30.5～当月)
前月比幅	H30. 6 -1. 8%以来 ①H23. 3 -16. 5% ②H21. 1 -8. 8% ③H21. 2 -8. 6%	H30. 1 -4. 5%以来 ①H23. 3 -15. 7% ②H21. 1 -9. 5% ③H20. 12 -7. 1%	H30. 6 -1. 9%以来 ①H23. 3 -5. 8% ②H21. 2 -3. 9% ③H21. 3 -3. 1%	H30. 6 2. 3%以来 ⅠH20. 11 13. 2% ⅡH20. 12 9. 9% ⅢH21. 1 9. 8%
前年同月比(原指数)	2.3%	1.3%	2.8%	4.0%
前年同月比の動き	2か月ぶり＋ (H30.5以来)	2か月ぶり＋ (H30.5以来)	10か月連続＋ (H29.10～当月)	10か月連続＋ (H29.10～当月)
前年同月比幅	H30. 5 4. 2%以来 ⅠH22. 3 29. 2% ⅡH22. 2 28. 8% ⅢH22. 4 23. 8%	H30. 5 3. 3%以来 ⅠH22. 3 28. 4% ⅡH22. 2 27. 0% ⅢH22. 4 25. 4%	H30. 3 3. 9%以来 ⅠH24. 3, 4 12. 1% ⅡH23. 8 9. 0% ⅢH23. 9 8. 1%	H30. 6 5. 2%以来 ⅠH21. 2 64. 6% ⅡH21. 1 54. 8% ⅢH21. 3 47. 9%

1) Ⅰ～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数の動向

- ・平成30年7月の鋳工業生産指数は、102.4(前月比-0.1%)と3か月連続の低下。
- ・平成30年1月の100.7以来の指数水準。

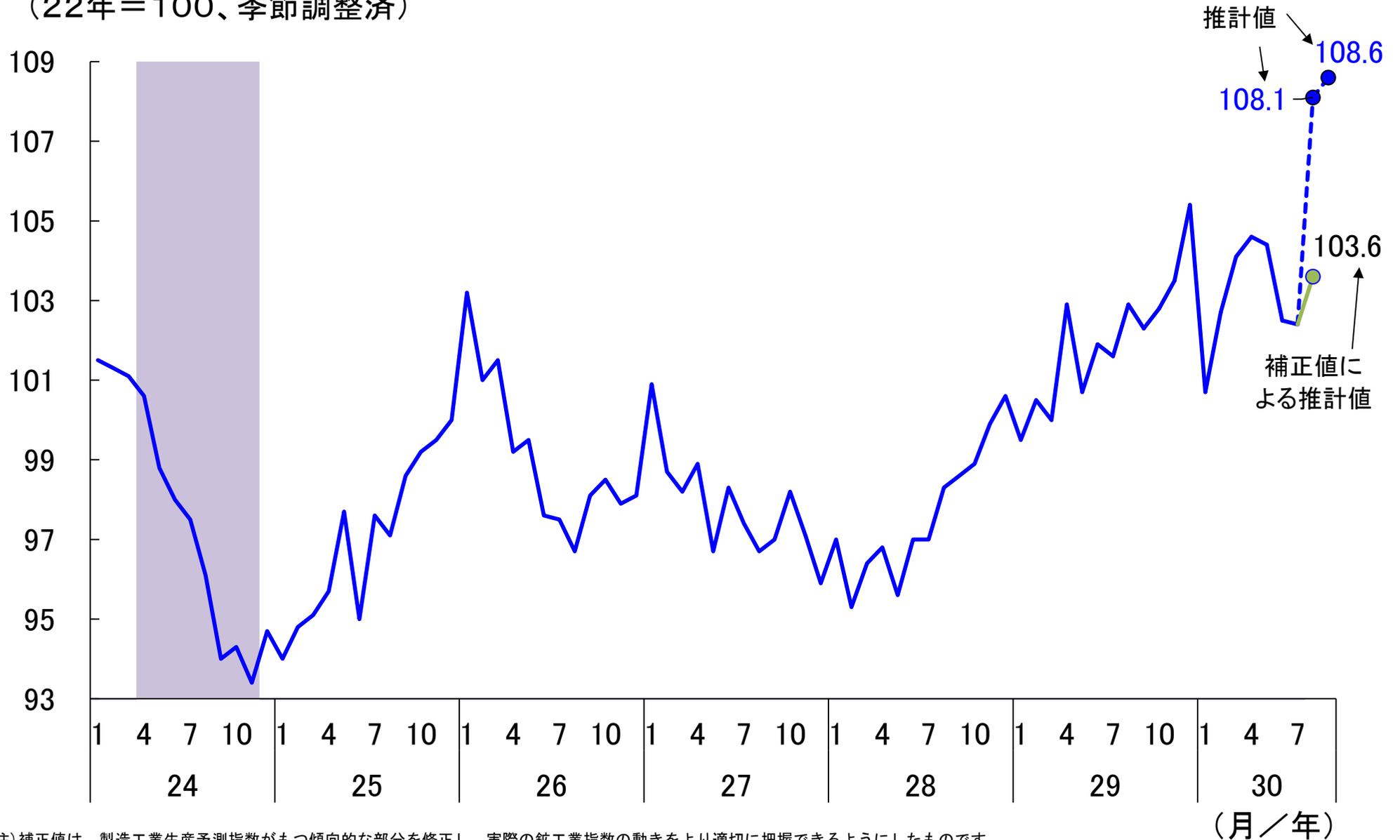
(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
 3. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

(22年=100、季節調整済)



(注)補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるようにしたものです。

平成30年7月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向へ引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	化学工業（除. 医薬品）	5.9%	613.3%
	品目	化粧品	5.8%	213.2%
		有機薬品	13.1%	126.3%
	2位の業種	電子部品・デバイス工業	1.8%	163.7%
	品目	電子部品	2.4%	91.4%
		集積回路	1.1%	46.7%
3位の業種	情報通信機械工業	7.6%	163.2%	
品目	電子計算機	12.9%	126.7%	
	民生用電子機械	4.0%	24.9%	
鉱工業生産を 低下 方向へ引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業	-4.2%	-860.6%
	品目	乗用車	-7.4%	-572.8%
		自動車部品	-4.5%	-338.7%
	2位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	-2.1%	-331.0%
	品目	土木建設機械	-6.7%	-122.5%
		金属加工機械	-30.5%	-102.2%
3位の業種	鉄鋼業	-5.0%	-191.6%	
品目	熱間圧延鋼材	-8.5%	-93.8%	
	鉄素製品（含. 鋼半製品）	-5.9%	-53.1%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成30年7月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	化粧品	5.8%	213.2%
	2位	電子計算機	12.9%	126.7%
	3位	有機薬品	13.1%	126.3%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	-7.4%	-572.8%
	2位	自動車部品	-4.5%	-338.7%
	3位	土木建設機械	-6.7%	-122.5%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	2.7%	401.9%
		モイスチャークリーム	10.3%	49.9%
		ファンデーション	9.3%	44.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	1.7%	90.2%
		橋りょう	29.8%	64.7%
		換気扇	8.6%	12.0%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.0%	0.0%
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	-1.2%	-195.0%
		機械プレス	-55.9%	-110.8%
		シヨベル系掘削機械	-6.2%	-85.4%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-4.0%	-406.4%
		普通乗用車	-9.0%	-454.0%
		小型乗用車	-2.5%	-25.5%

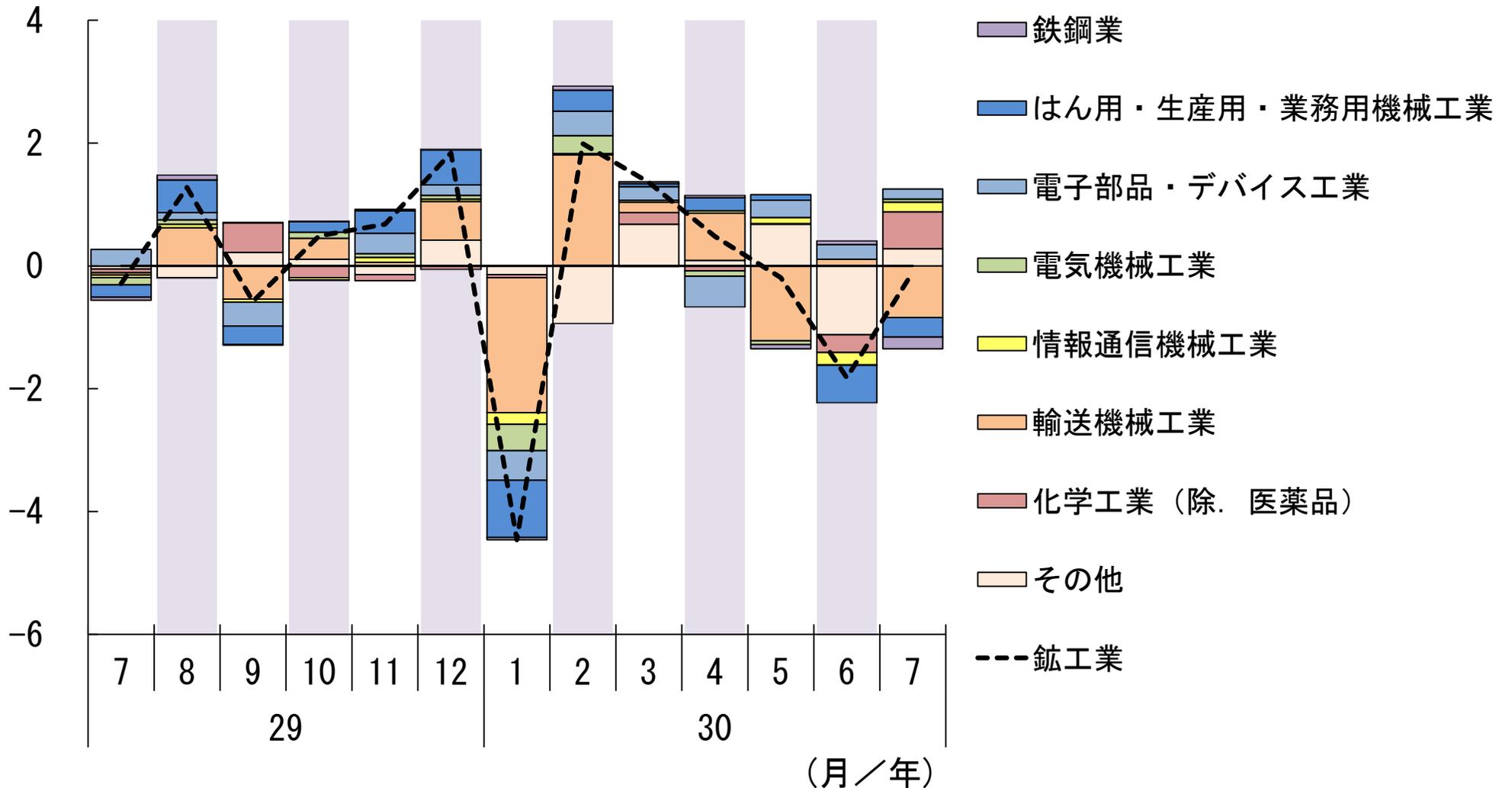
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 平成30年7月の生産指数は、化学工業（除. 医薬品）などが上昇したものの、輸送機械工業などが低下したため、前月比-0.1%の低下。

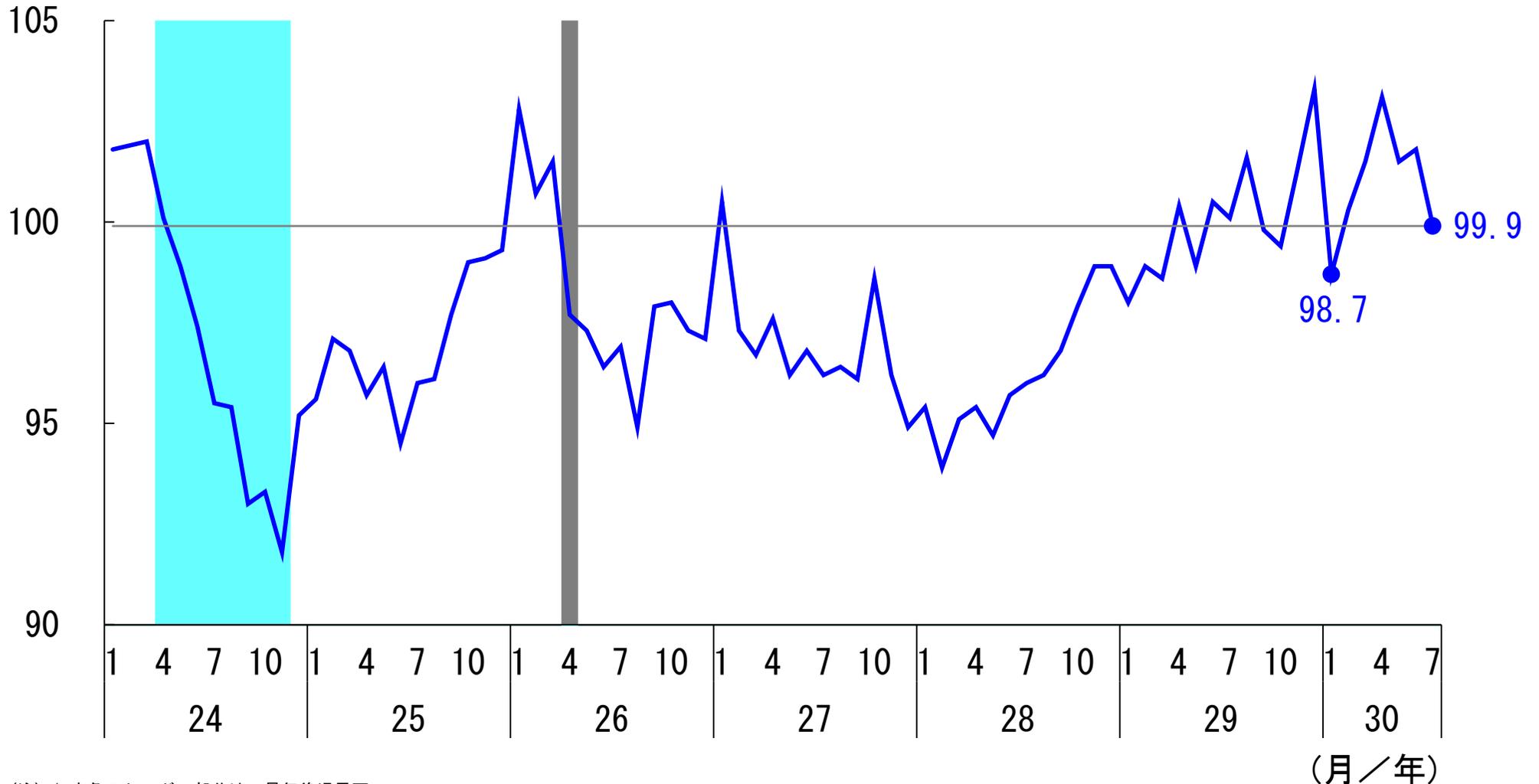
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

- ・平成30年7月の鋳工業出荷指数は、99.9(前月比-1.9%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成30年1月の98.7以来の指数水準。

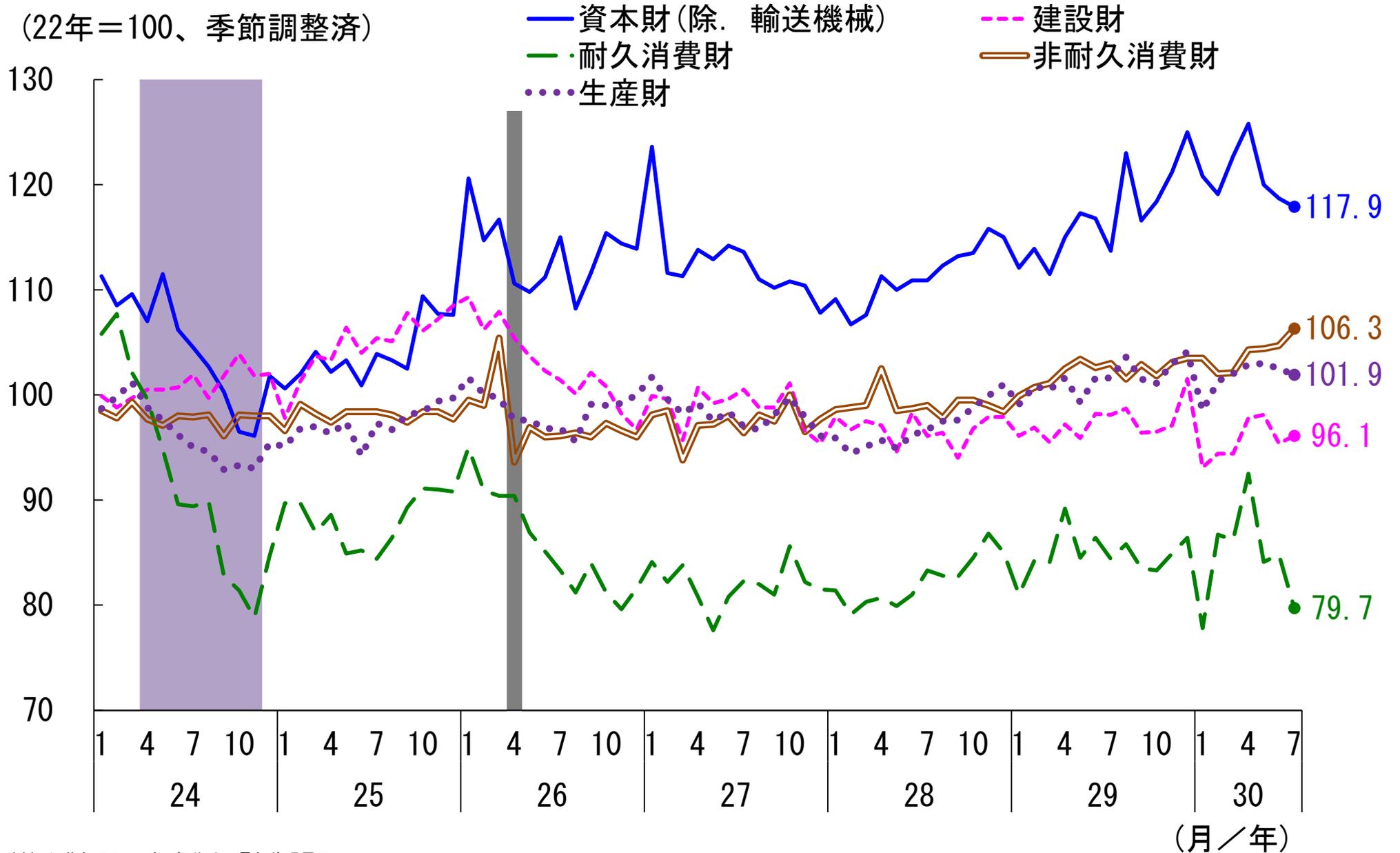
(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

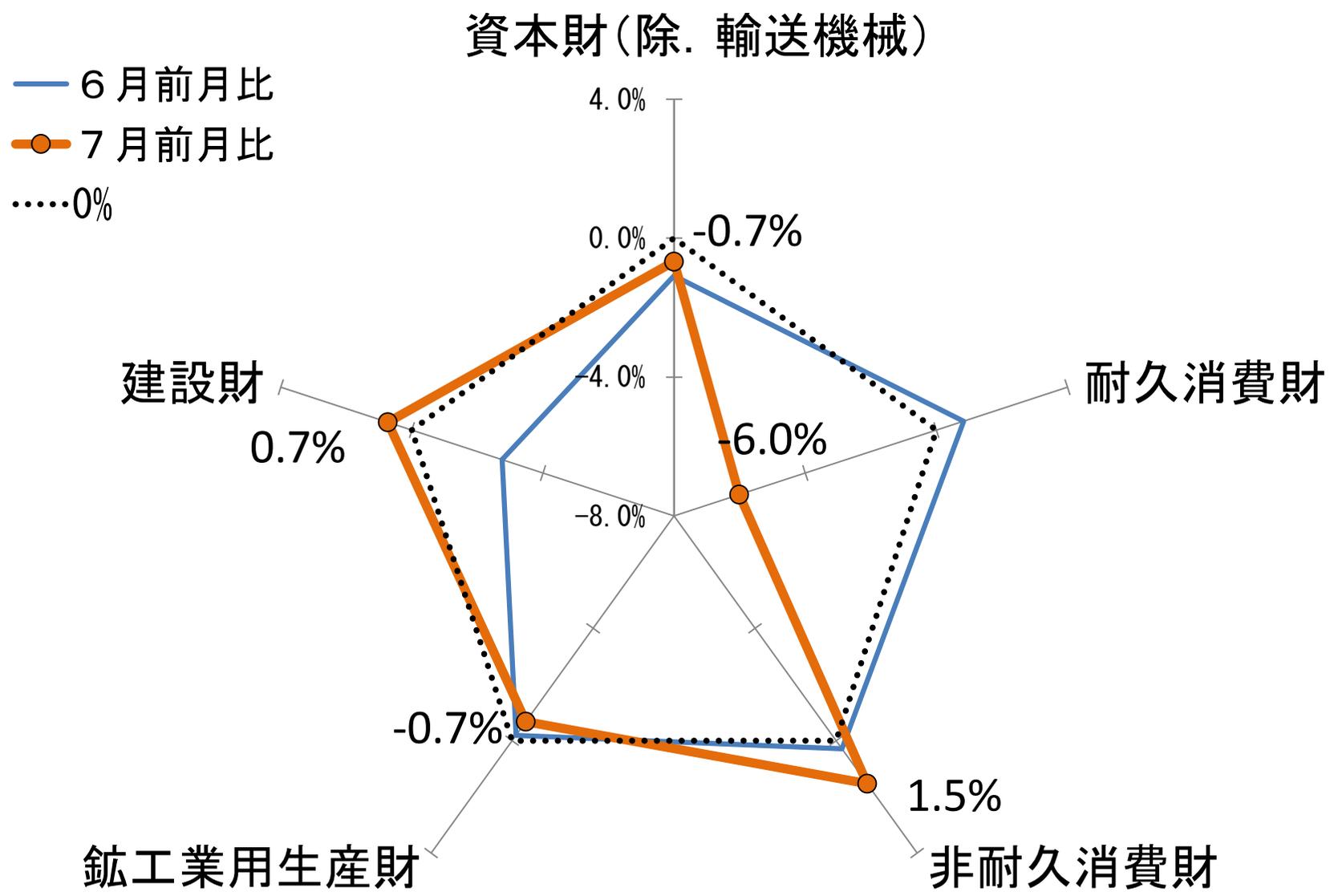
財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。
 2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の前月比比較（平成30年6月、7月）



平成30年7月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

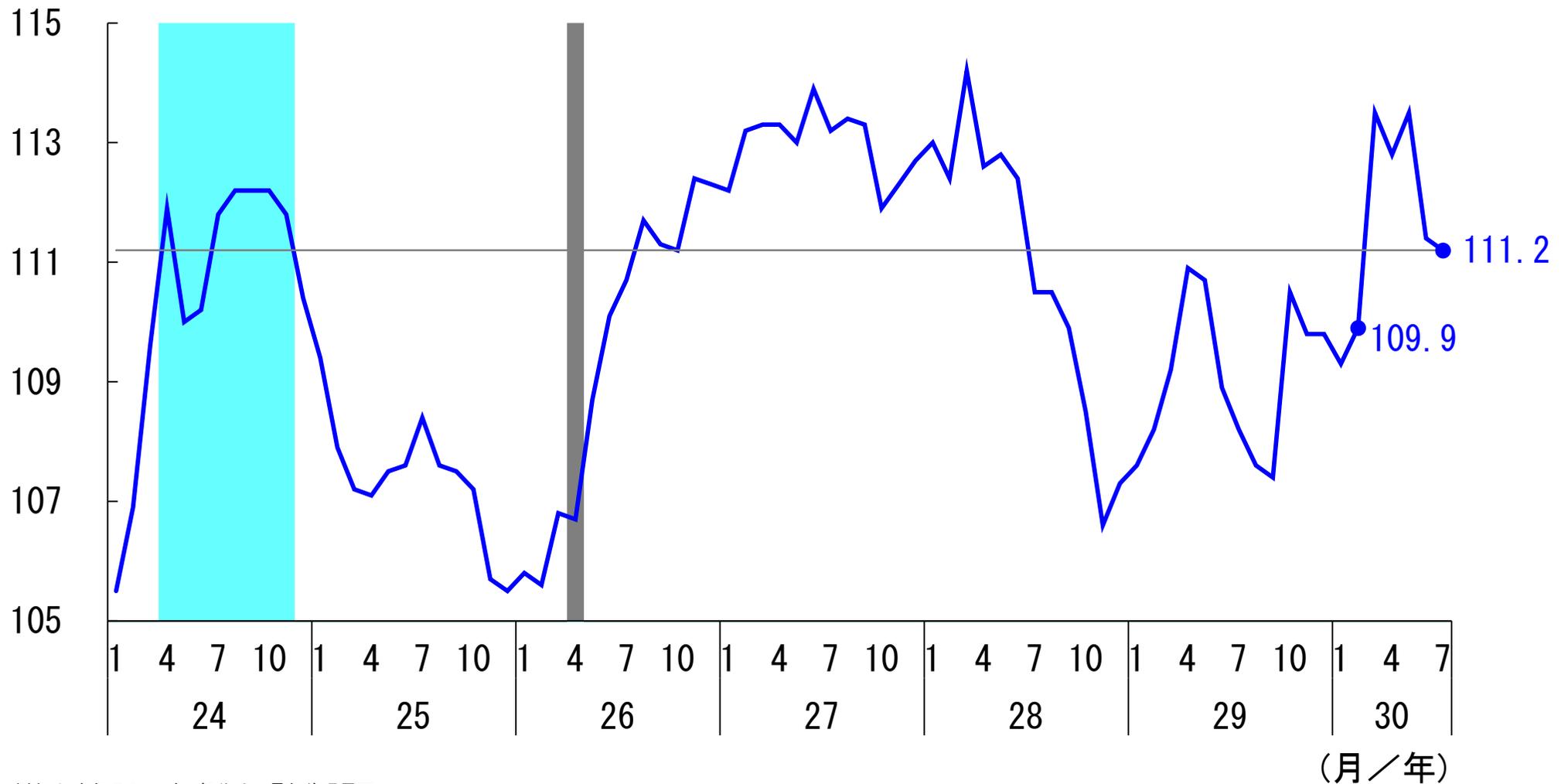
	解説	品目名	前月比	寄与率
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-6.0%	-40.9%
		普通乗用車	-9.0%	-32.7%
		小型乗用車	-5.3%	-4.5%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-0.6%	-15.9%
		自動車用エンジン	-5.6%	-5.0%
		シャシー・車体部品	-5.6%	-4.7%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	-0.7%	-5.0%
		ショベル系掘削機械	-12.0%	-10.6%
		一般用蒸気タービン	-55.6%	-7.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.7%	2.0%
		橋りょう	30.6%	2.9%
		エレベータ	9.1%	0.5%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	1.5%	9.8%
		モイスチャークリーム	31.0%	4.5%
		合成洗剤	11.8%	2.4%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鉱工業在庫指数の動向

- ・平成30年7月の在庫指数は、111.2(前月比-0.2%)と2か月連続の低下。
- ・平成30年2月の109.9以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

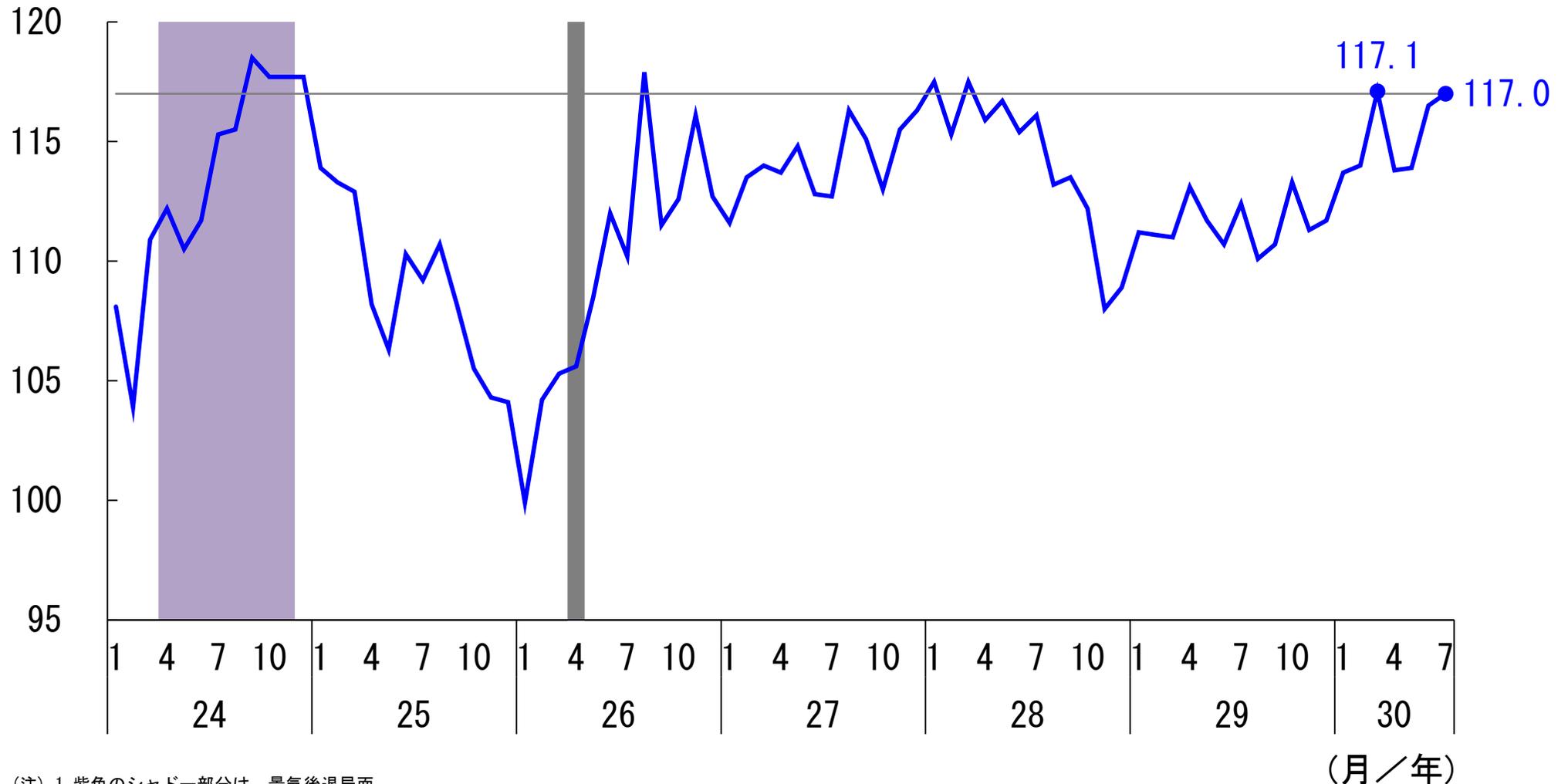


(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
 2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鉱工業在庫率指数の動向

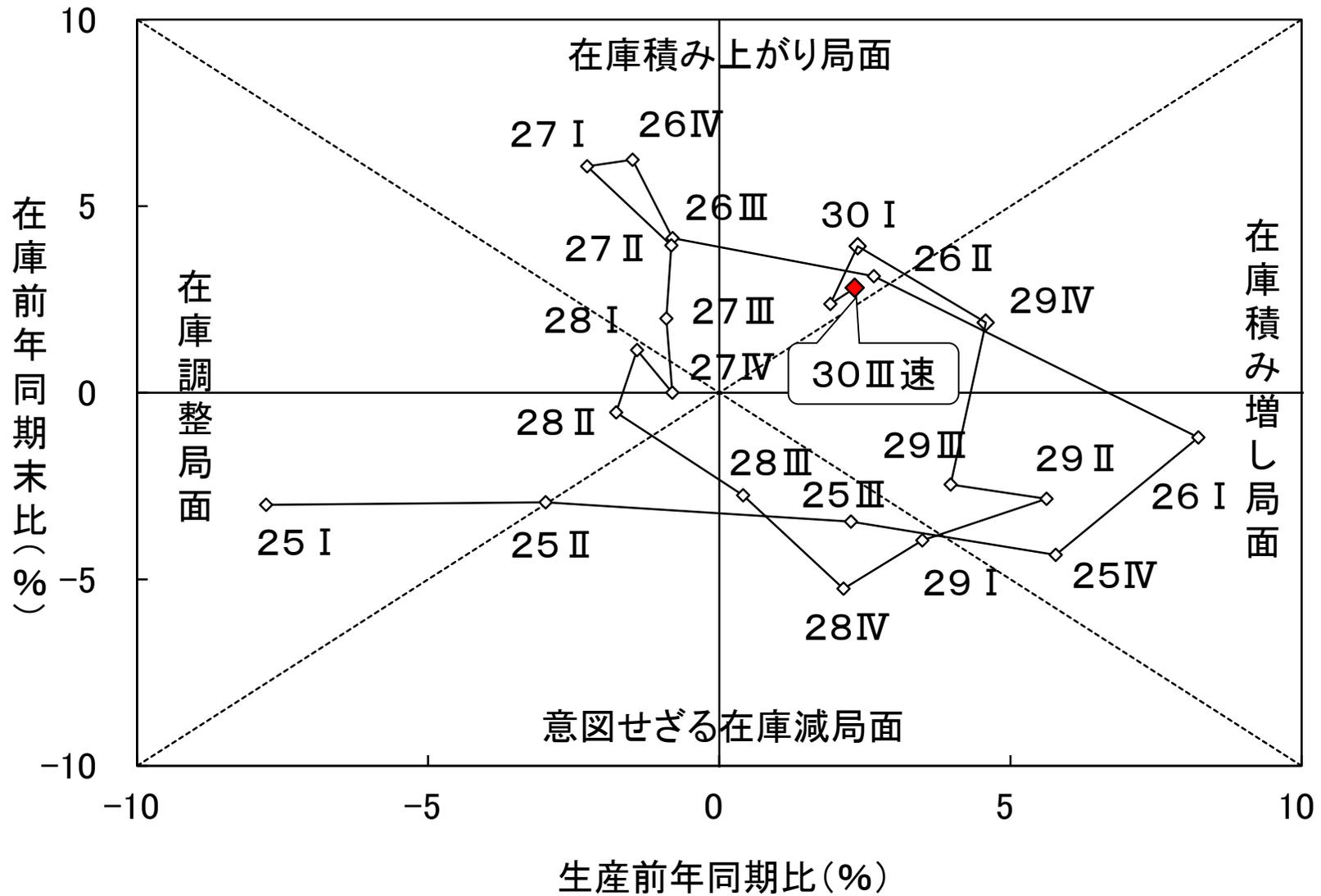
- ・平成30年7月の在庫率指数は、117.0(前月比0.4%)と3か月連続の上昇。
- ・平成30年3月の117.1以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鉦工業の在庫循環図



(注) 「30 III速」の生産は7月の値、在庫は7月末の値を使用。

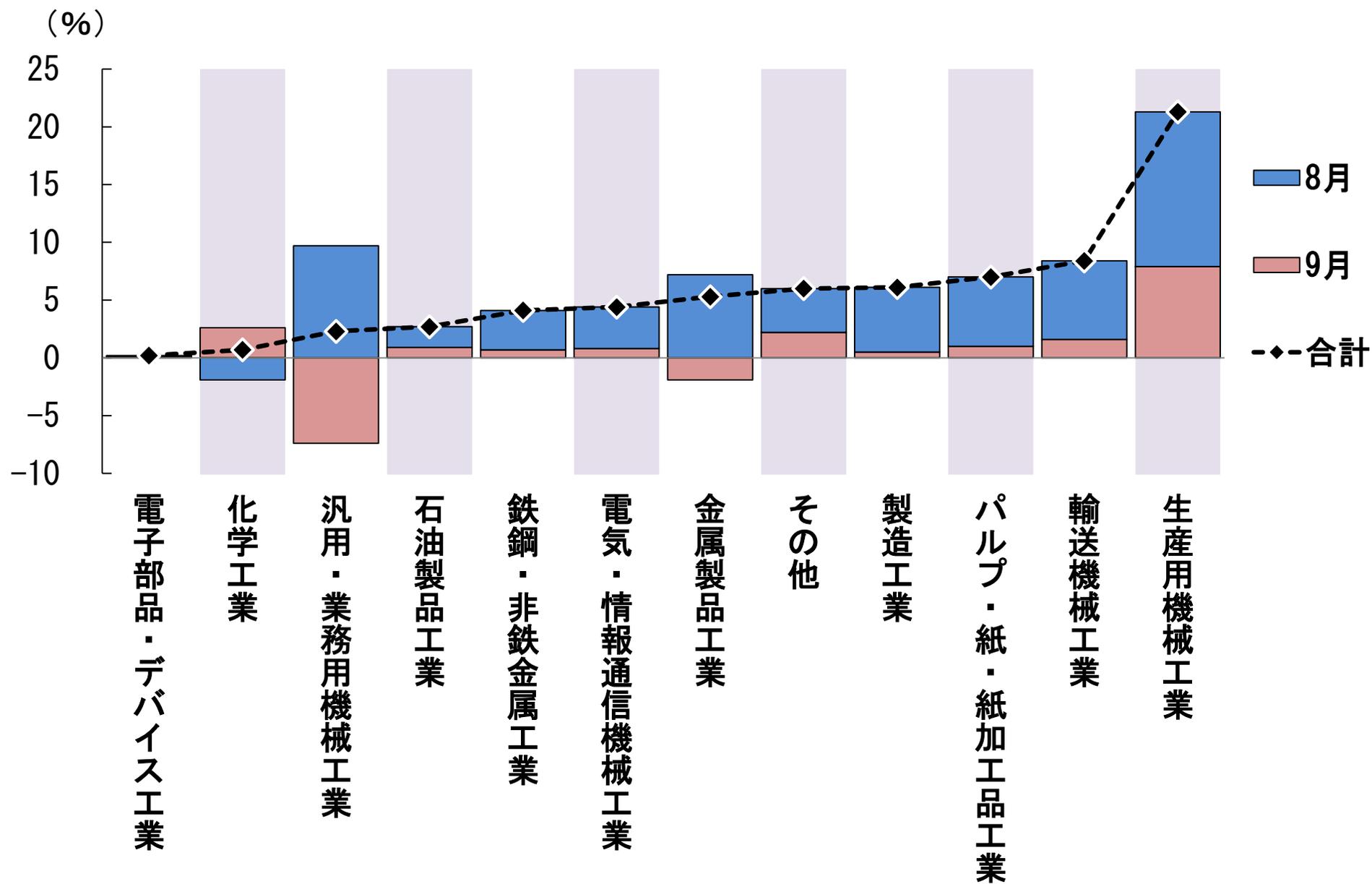
製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

	平成30年8月見込み	平成30年9月見込み
平成30年8月調査(今回)	5.6%	0.5%
平成30年7月調査(前回)	3.8%	

製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
8月前月比	1.2% (0.1%～2.2%)	5.6%

2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



平成30年8月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比	上昇寄与業種	計画前月比
生産用機械工業	13.4%	パルプ・紙・紙加工品工業	6.0%
輸送機械工業	6.8%	石油製品工業	1.8%
汎用・業務用機械工業	9.7%	電子部品・デバイス工業	0.1%
電気・情報通信機械工業	3.6%	低下寄与業種	計画前月比
金属製品工業	7.2%	化学工業	-1.9%
その他	3.8%		
鉄鋼・非鉄金属工業	3.4%		

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成30年9月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
生産用機械工業	7.9%
化学工業	2.6%
輸送機械工業	1.6%
その他	2.2%
電気・情報通信機械工業	0.8%
鉄鋼・非鉄金属工業	0.7%
パルプ・紙・紙加工品工業	1.0%

上昇寄与業種	計画前月比
石油製品工業	0.9%
電子部品・デバイス工業	0.1%
低下寄与業種	計画前月比
金属製品工業	-1.9%
汎用・業務用機械工業	-7.4%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

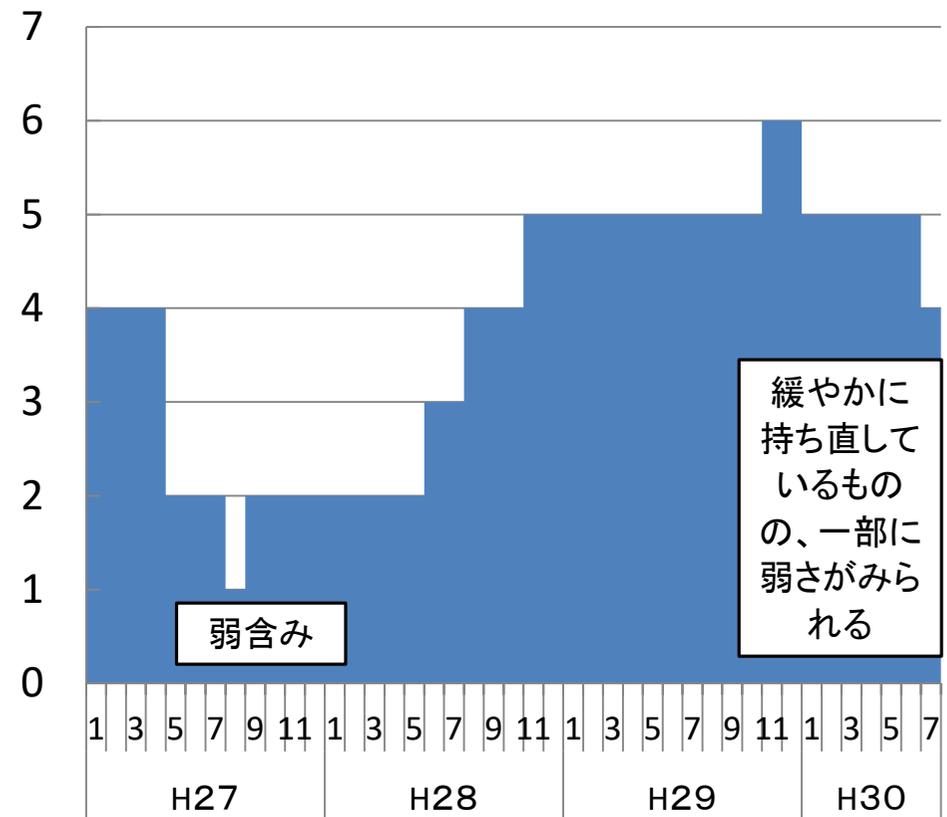
平成30年7月の鉱工業生産の基調判断

「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」

基調判断の推移

- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成28年11月～平成29年10月
「生産は持ち直しの動き」
- ・平成29年11月、12月
「生産は持ち直している」
- ・平成30年1月～6月
「生産は緩やかな持ち直し」
- ・平成30年7月～
「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」

基調判断の変化



(注)平成27年8月の「生産は弱含み」を1として、基調判断が上方修正されたら一律で1上昇、下方修正されたら一律で1低下というルールで作成。